



ほとぼし
**進るGood Music。飛び交う「どっから来たの？」。
 この人が思い描いたのは「本物の野外フェス」。**

現代日本のウッドストック＝FUJI ROCK FESが終わった翌日の琵琶湖畔、「超ミニだけど、まんまFUJI ROCK FES」というイベントが行われた。「どっから来たのっつっても京滋地区でしょ？」と思うのは早計。パーキングには苗場→琵琶湖のツアーバスまで停まっていたのだから、DJ・ライブの豪華なゲスト陣、mintosをはじめ、BREATH MARK、pug27、土生TICO剛、エレキベース…と、実際にFUJI ROCK FES出演～同イベントに直行組を含む豪華ラインナップを考えれば当然とも言えるのだけれど。

美しい琵琶湖の眺めとプライベートビーチ、そして緑の芝生…。会場を提供したのはcafe smile。その会場にはpeche、Cabaret、Lapinなど、前号の特集でもご登場いただいた木屋町の面々が出店した屋台の良い香り…。ロケーション・ゲスト・ホストを見事に整えた。同イベントの仕掛け人はNPOプラスワンネットワーク有田基氏。人脈と人徳を駆使して、彼が目指したものは何だったか？ 野外ステージに誰がしようとな隣で誰がしようとな「芝生にごろ～ん」。これだけで充分である。喫煙限定、ドライバーはノンアルコールとエコ&マナーにも心がけたHUMAN LOVE、そしてLOVE EARTH。ウッドストックの時代より受け継がれる野外フェスの法則「見知らずの赤の他人と仲良くなれること」。「どっから来たの？」から始まる参加者同士の会話である。クラブやバーでは軟派な香り漂う一言も、野外フェスなら美しき連帯感だ。それこそが、彼が見たかったシーンに違いない。

ここはクラブではなく、木屋町でもない、アーティスト目当てでもない、800人を軽く突破した来場者数（スタッフを含めると1000人over!）は、正しい野外フェスの形ではなかったか、主催者の方々、いかがだろう。夏限定にするのはもったいないと思うのだが？



Designed By. **4.50**
co so a do. PROJECT

grotto

DAIDOKOYA grotto



南国の
風吹いています。

サイバンの洞窟「グロット」をイメージしたお店。まるで海中にいるような透明感を感じさせられるつとりと異空間。
料理は新鮮な海の幸等をふんだんに使用した創作料理の数々は素材へのこだわりだけではなく、そこに遊び心も加わって満足間違いなし。



七条大橋、北西角にOPENしました。

ビーチの浜辺に建って居るホテルのロービーラウンジのイメージのCAFE
7オプジャンカフェの登場です。

tel:075.344.5820
open.10:00~24:00

Odyan Cafe

結婚式の二次会や
パーティが出来る
30名以上で貸切可。

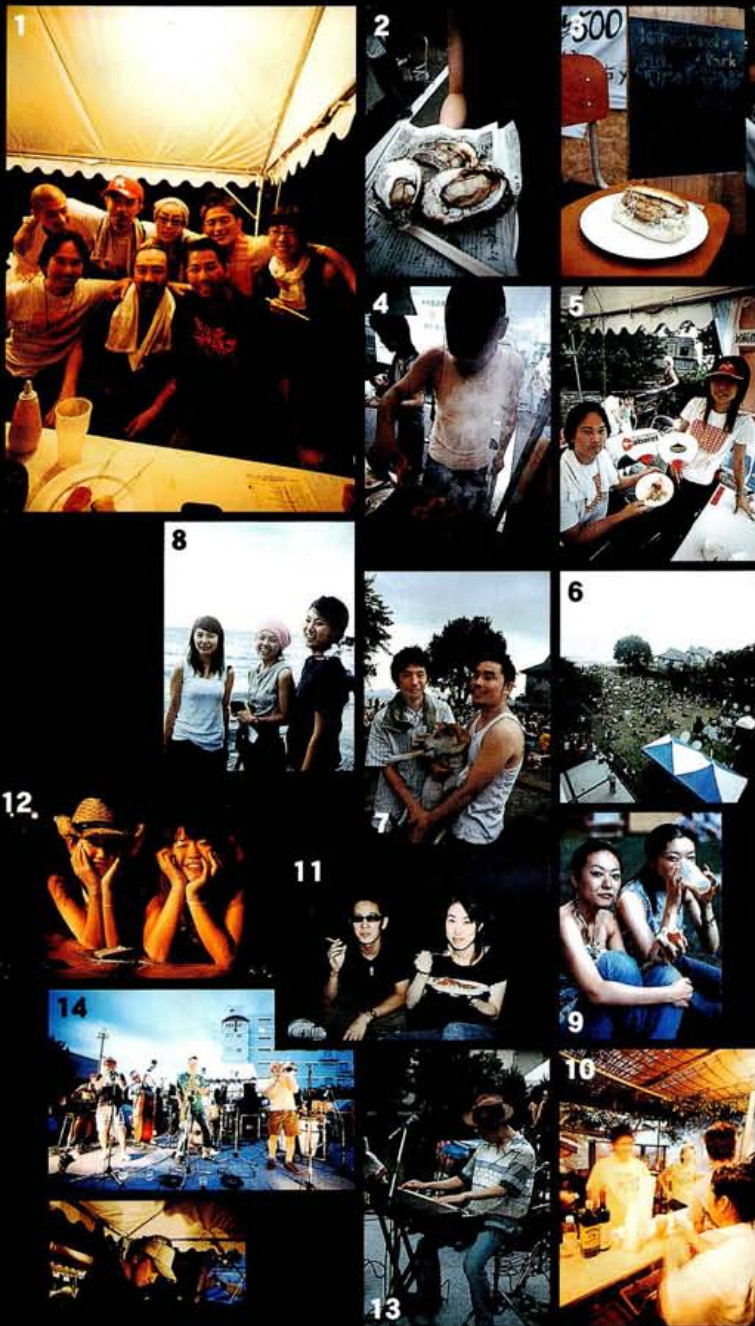


京都市中京区河原町通六角西50m入ル南側 YOGIビル 1F
tel.075-221-2232 OPEN.昼 11:00 ~ 24:00

ホームページ www.daidokoya.co.jp

飲み放題 京都 CF 3,480yenコース (税込)

※ご予約の上、当日持参。*他券併用不可。*四名様~注文可。
*前日迄に要予約・飲み放題は2時間。*有効期限は、04年11月30日迄です。



Watching Carefully

取材・文/トライアウト 撮影/斎藤 弦

BIG BBQ 2004 IN BIWAKO @cafe smile

1. 「僕は裏方ですから…」と一人での撮影断固拒否を貫いた有田さん(前列右端)。peche, Cabaret, Huong Viet... 協賛ではなく、共感した各店の人々や、会場提供cafe smileの足立さんなどと一緒に
2. 遠く高山からの屋台エントリ、居酒屋の艶次郎。若ガキ500円と超リーズナブル。「氷見うどん、鯛寿司もあって〜」
3. この日のために?サバサンドを考案したLOTUS ROOTS PARK。「コンロが壊れたよ〜(涙)。いやいやアシデントこそBBQの醍醐味ですぞ」
4. 烏丸姉小路の人気ベトナム料理店Huong Vietも出店。煙モクモクに「目が染まる〜」と泣き叫びながら肉を焼く店長の黒田さん
5. 本誌10月号木犀町特集でもご登場いただいた、Cabaretの鈴木ご夫妻。「今日のためにフレンチシェフのピンチョス作りしました!」
6. グリーンな芝生と琵琶湖の風景。目の前ではグッドミュージックが流れ…。このロケーションに老若男女が芝生の上でごろ〜ん
7. 親方なる名前の柴犬を飼うのはpug27のマコトさん(右)。「会社の同僚と写らせて」ということで、左はヒロトさん
8. アツコ・ユカリ・アツコって同じ名前が二人いる。「フリスビーが流されて」ということでこの波の中に裸足でいたんだってさ
9. 「Lapinでこのイベントを覚えてもらったんよ」と語るのはタマさん(左)とマユミさん。ごめんなさい、Lapin屋台は撮影し忘れた
10. と思いきや、編集部がちゃっかり撮ってたLapinの屋台。スタッフはAce cafeや諸々の混成チームで、グラスはエコカップ使用。返却すれば100円キャッシュバックなアース・コンシャス・システム
11. 幼なじみながらもちょっぴりラブラブなクミさん(右)とヨシキさん。「ナイスロケーションで食べる飯は美味いっす!」
12. 宵の口、女2人でごろ〜んと横に。「11時から来てるんよ。二人でカヌーも乗ったしね〜」とショウコさん(左)とユウコさん
13. FUJI ROCK FESではLITTLE TEMPOで登場した元フィッシュマンズのキーボーディストHAKASE-Sun。ユルめのふわふわ音楽がロケーションにマッチ
14. レゲエ、ジャズ、ラテン…あらゆるジャンルでロック的なパワフルサウンドをかき鳴らすpug27。自称「おっさんサウンド」が夕暮れの湖畔を盛り上げる!
15. LITTLE TEMPOでFUJI ROCK FESにも登場したSeiji BIGBIRDとSILENT POETのMichiharu Shimodaのユニット、Mintosがトリで出演。「野外はイイよね〜」とSeiji BIGBIRD
16. ビール飲み過ぎのヒロカカさんと奥さんは息子のルカさんと。「音楽よりもBBQ。野外はやっぱり美味いっす」とヒロカカさん